

「これからの教育と研究～大学生協教員調査 2023」調査結果 概要ご報告

日本福祉大学生協同組合

この調査は、全国の大学教員の皆様がコロナ禍を経て、授業や研究活動にどのような工夫、ご苦労をなさっているか、また学生の変化や学生に対して先生方がどのような思いやお考えをお持ちかをお尋ねする調査で全国の大学生協のある大学で2023年7月中旬～8月上旬に一斉に実施し、全国で2,238名の先生方にご回答頂きました。

日本福祉大学では総務課にご依頼して専任の先生方向けに nfu.jp に掲出頂き、31名の先生方にご回答頂きました。どうもありがとうございました。

※自大学＝日本福祉大学のご回答です。

(1) ご回答者の属性

研究分野	人文・社会・教育 関連	理・工・農 関連	医・歯・薬・健康 関連	
自大学	65.6%	9.4%	25.0%	
全国	47.6%	39.1%	13.3%	
先生の年齢	20～30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上
自大学	12.5%	15.6%	56.3%	15.6%
全国	12.9%	29.5%	37.1%	20.6%

(2) コロナ後の授業の進め方や評価方法の変化/授業準備の変化について

授業の進め方や評価方法の変化1	予習/復習課題を増やした	出席の取り方が変わった	新たに教科書を指定した	教科書を紙から電子教科書に変更した	教科書の指定をやめた	資料や板書の共有方法をデジタル化した	授業内での動画の活用を増やした	TA/補助をお願いした	テストをオンライン化した	レポート等の提出をオンライン化
自大学	20.7%	58.6%	13.8%	3.4%	0.0%	34.5%	31.0%	0.0%	34.5%	65.5%
全国	20.7%	32.7%	3.2%	3.0%	2.1%	48.2%	27.5%	2.6%	23.3%	54.6%

授業の進め方や評価方法の変化2	レポート課題増	レポート課題減	テストを用意した回数増	テストを廃止した	新たにPCや周辺機器を購入した	独自の休憩時間を用意	特に変化はない
自大学	13.8%	0.0%	17.2%	0.0%	20.7%	0.0%	10.3%
全国	15.3%	1.8%	6.5%	3.6%	24.3%	3.2%	14.7%

授業準備の変化	授業内容準備時間が長くなった	授業直前の準備時間が長くなった	機材設置準備の時間が長くなった	教室持込みの自分の機材・道具が増えた	スタッフとの打ち合わせ時間が長くなった	特に変化はない
自大学	34.5%	34.5%	20.7%	24.1%	10.3%	37.9%
全国	45.1%	25.6%	22.6%	21.6%	2.6%	34.5%

出席のとりかた、新たな教科書指定、テストのオンライン化、レポート提出のオンライン化、テストを用意した回数の増加などが全国の結果よりも多くなっています。先生方が準備を工夫なさっていることが

LMS利用状況		よく使う	時々使う	使わない
自大学	授業の出席確認	61.5%	15.4%	23.1%
	授業教材などの提示	69.2%	15.4%	15.4%
	課題の提示	92.3%	7.7%	0.0%
	課題の提出	76.9%	15.4%	7.7%
	小テスト	38.5%	15.4%	30.8%
全国	オンデマンド授業(動画)の配信	30.8%	38.5%	23.1%
	授業の出席確認	36.2%	19.0%	40.7%
	授業教材などの提示	79.7%	16.7%	2.5%
	課題の提示	78.2%	17.5%	2.8%
	課題の提出	76.5%	17.6%	4.2%
全国	小テスト	36.5%	21.2%	35.3%
	オンデマンド授業(動画)の配信	34.4%	37.6%	25.0%

LMS の利用状況は、出欠の確認と課題の提示で全国の結果よりも多くの先生方が活用されていることがわかりました。

### (3) オンライン授業・対面授業のお困りごとについて

オンライン/オンデマンド授業の困りごと	学生の反応がわからない	動画コンテンツ作成	教材作成(動画除く)	著作権への配慮	実験/実習/実技などの行い方	大学設備/機材が古い/用途に合っていない	配信機材トラブルで授業中断	学生側の機材やネット環境のトラブルで授業が中断	身体への負荷	オンライン・オンデマンド授業はない	特に困っていることはない
自大学	55.2%	17.2%	20.7%	24.1%	24.1%	10.3%	17.2%	27.6%	20.7%	17.2%	17.2%
全国	50.8%	24.3%	17.1%	40.4%	16.7%	13.0%	13.8%	18.8%	21.4%	9.8%	14.1%

オンライン授業では学生の反応、学生側の機材やネットトラブルでの授業中断等のお困りが多いようです。学生側の機材トラブル等を減らすため学生のスキル向上の支援につながるようなパソコン講座や、パソコン不調予防のためパソコン点検会などの取り組みを生協が継続する必要があると言えます。

対面授業の困りごと	受講者数制限がある	オンライン授業を学生が好む	オンライン授業より質問が出ない	授業の進度管理が難しくなった	予習・復習の課題を出しづらくなった	特に困っていることはない
自大学	0.0%	24.1%	6.9%	0.0%	0.0%	69.0%
全国	3.2%	16.9%	6.1%	6.7%	1.0%	64.5%

た。

伸びるとよいと思う学生のスキル	情報リテラシー	文章力	英語や語学力	パソコンスキル	論理的思考力	コミュニケーション力
自大学	55.2%	89.7%	17.2%	24.1%	69.0%	44.8%
全国	41.7%	65.6%	21.1%	26.4%	59.2%	40.1%

また、「さらに伸びるとよいと思う学生さんのスキル」に関しては「情報リテラシー」が半数以上、パソコンスキルと回答された先生が約 1/4、コミュニケーション力と回答された先生が 4 割以上おみえでした。生協のパソコン講座や学生委員会による学生どうしの交流場面の創出でサポートができればと感じる結果でした。

### (4) 教科書について

教科書は、現在は冊子体の教科書を使っている方が最も多いですが、部分的にしか使わない、あるいはご自分の授業に最適な教科書が出版されていないとの理由で、自作のプリントの紙配布または PDF データ

共有、自作スライドの表示などを活用されている先生も多くおみえでした。動画コンテンツを使っている先生も 17.2%おみえです。

電子教科書の採用に興味	すでに電子教科書を採用している	電子教科書に興味がある	どちらともいえない	電子教科書には興味はない			
自大学	0.0%	34.5%	44.8%	20.7%			
全国	3.7%	30.1%	40.5%	25.7%			
電子教科書採用メリット	授業のポイントを学生へ事前事後に明示しやすい	ログ閲覧機能を活かし、学生の授業の進捗を見られる	ログ閲覧機能を活かし、授業計画を検討しやすい	授業で使用する資料・教材を作る必要がない	学生がいつでも持ち歩けること	学生のICTスキル向上に役立つ	メリットはあまりよくわからない
自大学	24.1%	10.3%	6.9%	20.7%	55.2%	13.8%	20.7%
全国	17.4%	11.5%	5.3%	15.9%	41.2%	10.8%	22.1%
電子教科書ハードル	先生がお使いのデバイスがないまたは古い	学生の閲覧のためにデバイスを購入させること	適切なコンテンツがない	先生方への技術的なサポート	学生の対応やサポートの窓口	授業方法を変える必要がある	
自大学	0.0%	37.9%	34.5%	17.2%	17.2%	13.8%	
全国	5.3%	24.1%	38.9%	12.4%	12.6%	13.9%	
電子教科書採用検討について	思う	どちらともいえない	思わない	すでに電子教科書を採用している			
自大学	24.1%	55.2%	0.0%	0.0%			
全国	30.2%	40.5%	9.7%	1.4%			

電子教科書の採用にご興味のある先生が 3 割強いらっしゃいますが、学生さんに閲覧のためのデバイスを購入させることや適切なコンテンツがないことがハードルと考えておられる先生が多いことがわかります。

#### ※電子化を要望される教科書・参考書などのコンテンツ（自由記述）

- ・現在は確定していないが前任校では医学書院の e テキストを使用していた。（看護学部）
- ・国家試験対策（社会福祉学部）
- ・経済学における計算問題の演習テキスト（経済学部）

（5）研究費でのご購入についてもお聞きしています。

研究費：生協でよく購入する		物品			書籍		出張		生協はほとんど利用しない	
生協で購入する理由	納期	安価だから	必要なものがあるから	研究室から近いから	大学・研究箇所・教職員からの指定	発注しやすい	時間を選ばず発注できる	会計処理がスムーズ	アフターフォロー	担当者の来訪・人柄
自大学	9.4%	15.6%	3.1%	25.0%	6.3%	46.9%	12.5%	65.6%	12.5%	0.0%
全国	12.3%	12.6%	14.5%	34.2%	9.7%	49.8%	9.9%	38.3%	8.2%	8.6%
生協以外で購入する理由	納期	価格	品揃え・生協での取り扱いがない製品サービス	大学・研究箇所・教職員からの指定	発注しやすい	時間を選ばず利用できる	会計処理がスムーズ	アフターフォロー	担当者の来訪・人柄	
自大学	31.3%	37.5%	56.3%	3.1%	53.1%	37.5%	25.0%	6.3%	0.0%	
全国	25.8%	40.6%	57.0%	6.4%	32.1%	20.8%	12.4%	5.4%	5.7%	

全国の結果と比べ生協をよくご利用いただいている方が多い結果となりました。生協で利用する理由は、会計処理がスムーズ、発注しやすい、研究室から近いから の順でした。

生協で購入する理由で「担当者の来訪・人柄」を理由にされる方がゼロであったことから、学内に立地することにあぐらをかかず教職員の皆様の利便性向上の努力を続けることが課題だと明らかになりました

(6) このほかの自由記述欄

①対面授業のデバイス持ち込みについて選択肢を選ばれた理由 自由記述

対面授業のデバイス持ち込み	積極的に使ってもらいたい	学生が自身で利用したいなら使えばよい	どちらともいえない	あまり良いとは思えない
自大学	37.9%	34.5%	17.2%	10.3%
全国	43.1%	41.0%	11.3%	4.6%

<積極的に使ってもらいたい・学生が利用したいなら使えばよい>

- ・自ら事例を検索するなど、学習効果が上がるため。(複数回答)
- ・印刷やプリント配布による時間の節約ができる
- ・学生自身が、授業に関係のあることについて適切な使用をできるのであれば、止めるものではないと考える。むしろ、有効活用できることが良いと考える。(複数回答)

<どちらともいえない>

- ・授業中の機器の利用は授業に関係することなのかどうか判別がつきづらい(複数回答)
- ・機器利用の目的や時間帯などを教員がマネジメントできればよいが、自由にすると授業が成り立たない(授業なのかほかのことかわからない)。
- ・個人の考えだけでは決められない。
- ・授業内容(科目の特性)に応じて変わるので、適切な選択肢が無いため。

<あまり良いとは思えない>

- ・学生と話しをするなど交流することを重視している。

②授業を進めるにあたり生協にサポートしてほしいこと 自由記述

- ・PC購入学生へのアフターケア
- ・ICTに関するサポート
- ・購入するテキストのところに、どの授業で使われるテキストなのかをわかりやすく明示してほしい。
- ・授業開始前からの店舗営業と、授業終了以降の店舗営業を希望。演習系科目の場合、授業前に必要な資料を購入するケース(あるいは授業中に購入に行かせる)や、授業後に購入させる(宿題の作業に必要な場合)があるため、授業の前後も含んだ授業中は営業してほしい。
- ・通信課程では、土日にスクーリングがあります。大学近辺に食堂等がほとんどないので、土日の生協食堂の営業、もしくは、予約してお弁当を注文するシステムを作ってはどうでしょう。

③研究活動を進めるにあたって現在のお困りごと

- ・時間不足。大学運営業務に時間をとられて時間がない
- ・管理業務に時間と集中力がとられて、研究活動が滞っている。
- ・事務的な仕事が多く、研究活動のためのフィールドワークに出かけることが制限される。文献等を読む時間は、勤務内にはほぼとることはできない。
- ・研究以外の時間に多くが割かれ、研究時間の確保が困難。研究費も自身の分野としてはかなり少ない。
- ・教育課題が多いが人員が整わず常に繁忙状態にあり、研究活動に時間がさけない。
- ・授業や学生指導のための時間が多く、研究のための時間がとれない。倫理申請等、研究遂行のための諸手続きが煩雑。